

災害時の心理的応急処置（PFA）に関する研修とその効果の研究について
（長期研修終了報告）

The effects of trainings of Psychological First Aid (PFA)
to clinical psychologists and others
(Reports of the completion of a long-term training)

種市 康太郎

TANEICHI Kotaro

キーワード： 心理的応急処置（PFA）、災害、心理職、普及

この長期研修は2015年9月16日－2016年9月15日に実施されたものである。この研修の主な目的は、すでに研究に着手していた文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究「災害時の心理的応急処置の臨床心理士への普及に関する実践的研究」（研究代表者 種市康太郎、2014年～2016年、課題番号25590195）をさらに推進することである。この研究における心理的応急処置（Psychological First Aid, 以下PFAと略記）とは、自然災害、飛行機事故、戦争や紛争などの多くの人びとに影響を与える大規模な出来事や、事故、盗難、火事などの個人に影響を与える出来事を体験し、深刻なストレス状況にさらされた人々への人道的、支持的かつ実際に役立つ援助方法のことである。この研究では、臨床心理士をはじめとする専門職者等に対してWHO版心理的応急処置（PFA: Psychological First Aid, 以下PFAと略記）に関する教育研修を実施し、その効果を検証した。

研修先は国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（東京都小平市）であった。この機関は病院と研究所が一体となった国立高度専門医療センターであり、精神疾患、神経疾患、筋疾患、及び発達障害の克服を目指した研究開発を行い、その成果をもとに高度先駆的医療を提供するとともに、全国への普及を図ることを使命としている。私はその中の精神保健研究所、成人精神保健研究部、災害時心の情報支援センターにおいて研修を行った。この成人精神保健研究部部長、兼、災害時心の情報支援センター長である金吉晴先生はPFAの日本語版を翻訳し、PFAの日本での普及を行っている。今回の研究にあたり、センターの協力や指導を得ることが研究の推進につながると考え、研修先として申請し、研修中に協力や指導を受けた。

今回の長期研修において、主として以下の活動を行った。

（1）PFAに関する大規模研修の実施

2016年10月23日－31日、PFAの執筆者の一人であるWar Trauma FoundationのLeslie Snider先生を招聘し、国立精神・神経医療研究センターにおいてPFAに関する大規模研修を実施した。Leslie Snider先生には、大規模研修実施の前後にプロジェクト全体および各PFA研修に関するスーパービジョンを受けた。大規模研修は、PFA研修の指導者を育成する研修（4日間）、および、育成された指導者によるPFA研修（1日間）により構成された。対象は、臨床心理士をはじめとする専門職者等であり、指導者研修受講者は12名、PFA研修受講者は60名であった。PFA研修の前後に①PFA基礎知識の理解度、②災害対応の能力・知識の自己評価について質問紙により調査し、PFA研修の効果を測定した。

(2) PFAを含む人道支援に関する専門家会議への参加

2016年1月14日-15日、フィリピン、マニラにある西大西洋地域管轄のWHO(世界保健機構) オフィスにおいて開催されたExpert Group Meeting on Mental Well-being, Disability and Humanitarian Action (精神健康, 障害, 人道支援に関する専門家会議)に参加した。

この会議は、フィリピン、日本、韓国、マレーシアなどアジア諸国および欧米の人道支援の専門家、およびWHOのスタッフにより行われ、各国での災害時の人道支援の好事例の報告、課題の共有、課題の解決に向けたディスカッション等が行われた。情報提供や教育のためのITの活用方法についても話し合われ、最後は会議のサマリーがまとめられた。

(3) 国際心理学会議での発表

2016年7月24-29日、横浜市で行われた31st International Congress of Psychology (第31回国際心理学会議)において、“The effects of trainings of Psychological First Aid (PFA) to clinical psychologists”という内容で発表を行った。

(4) その他

PFAの普及、PFA研修の効果の測定、および、この研究の成果報告を目的として、PFAに関する以下の講演・研修を実施した。

- 1) Psychological First Aid (心理的応急処置)とは、日本心理学会第79回大会チュートリアル (2015年9月23日、名古屋国際会議場、愛知県名古屋市)。
- 2) PFA (Psychological First Aid, 災害時の心理的支援 (臨床心理士を含む教職員、学生向け研修) (2015年12月19日~20日、西南学院大学)。
- 3) 心理的応急処置 (PFA) とは~災害時の心理的要因と睡眠障害の関係について~、日本災害医療薬剤師学会第5回学術大会ランチョンセミナー (2016年1月24日、日本医科大学)。
- 4) 災害時の心理的応急処置 (PFA) とは? (2016年3月3日、東京都産業カウンセラー協会、災害対応チーム)。
- 5) 災害後に、現場で求められる心理的応急処置 (PFA) とは? 日本自治体危機管理学会・明治大学危機管理研究センター共催第33回定例研究会 (2016年5月18日、明治大学)。
- 6) 災害時の心理的応急処置 (PFA) とは? (2016年7月31日、東京都産業カウンセラー協会、災害対応チーム)。
- 7) 災害時の心がまえーサイコロジカルファーストエイドについて (市職員向け)。 (2016

年8月4日。北九州市)。

また、長期研修期間中における、著書・論文・翻訳などの研究成果は以下の通りである。

- 1) インフェルド, R.著, 西川あゆみ監訳 (2016). 従業員支援サービス (EAP) の惨事即応手法 (*Japanese Version EAP CIR Multi-systemic Resiliency Approach*). Createspace Independent Publishing Platform. (分担訳. 12章 マネジメントコンサルテーション, p.165-183).
- 2) 坂井一史・深瀬砂織・三浦有紀・種市康太郎 (2015). 産業領域で働く臨床心理士のコア・コンピテンシーとキャリア・パスの検討. 心理臨床学研究, 33, 15-25.
- 3) 島津明人・種市康太郎 (編) (2016). 産業保健スタッフのためのセルフケア支援マニュアル―ストレスチェックと連動した相談の進め方―. 誠信書房.
- 4) 種市康太郎 (2015). 研修デザインのための専門技能. 臨床心理学, 33, 333-336.
- 5) 種市康太郎 (2016a). 災害後に、現場で求められる心理的応急処置 (PFA) とは? 聖徳大学心理教育相談所紀要, 13, 29-37.
- 6) 種市康太郎 (2016b). コミュニケーション力を高めるには. 産業精神保健, 24 (特別号), 93-96.
- 7) 種市康太郎 (2016c). 人づきあいで困るとき (新ストレスマネジメントハンドブック第11巻). 全国労働衛生団体連合会.
- 8) オドネル, M.P.編 近本洋介監訳 (2016). 職場におけるヘルス・プロモーション. (*Health Promotion in the Workplace.*) Createspace Independent Publishing Platform. (分担訳. 16章 職場のストレスマネジメント, p.457-472)
- 9) 太田 香月・種市 康太郎 (2016). 女子大学生の摂食障害傾向に関連する心理・社会的要因についての検討. 桜美林論考心理・教育学研究, 7, 15-25.

今回の研究はPFA研修実施の効果を検討するものであり、PFA研修の中には数日間にわたるものや、地方で開催するものがあつたことから、長期研修の機会が得られたことは研究の推進の助けとなった。また、この機会に国際学会・国際会議への参加・発表ができ、著書・論文・翻訳など、まとまった研究成果を残すことができたと考えている。